

# 戸田市新型コロナ対応 緊急支援パッケージ

新型コロナウイルス感染拡大が市民生活に甚大な影響を及ぼしていることから、「迅速」かつ「簡潔」な手続きにより、市内中小企業や市民の「安心」を守る、総合的な支援が実施されました。

## 第1弾 総事業費 約12億円

支援策	事業費
経済雇用対策	10億 4,800万円
生活支援対策	3,839万円
感染症予防対策	1億円

## 第2弾 総事業費 約4.5億円

支援策	事業費
経済雇用対策	4,989万円
生活支援対策	3億 4,901万円
感染症予防対策	5,626万円

※千円単位は切り上げ

## マイキーID設定支援業務 993万5千円

**Q** 事業の内容は。  
**A** 9月から実施が予定されているマイナポイント事業について、マイナポイントを取得するため、マイキーIDの設定の際、機器がない方や、手続きに不安のある方などに対し、専用端末機を備えた臨時窓口を設置し、操作方法等を案内する。



▲マイナンバーカードの交付に合わせてご案内できます

## 土のう管理業務

48万4千円

**Q** 新設する土のうステーションの設置場所とその根拠は。  
**A** 令和元年台風第19号による市内の被害状況等を鑑み、笹目6丁目の下町公園と川岸1丁目に新たに開設した緑地・緑道の2カ所に設置することを計画している。



▲自助の手段として土のうステーションを活用しましょう

## 請願

◆戸田市におけるパートナーシップの認証制度(仮称)及び性的少数者に関する諸問題への取組に関する請願 採択(全員一致)

同性同士を含めたパートナーの認証制度が全国47自治体で創設されている。家族を形成し、社会から承認を得ることは人としての根源的な欲求で、重要な人権課題であり、以下のとおり要望する。  
 ①教育、福祉、医療、就業、その他の行政活動において、性自認、性的指向による差別を許さない諸施策を講じてほしい。  
 ②同性同士で生活する者も含め家族として扱う「パートナーシップの認証制度」を早期に創設し、その存在を公に認めることで、性的少数者にとっても住みやすいまちづくりをしてほしい。

## 人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員 田部井 敏雄氏(再任) 同意(全員一致)

## 意見書

意見書(議員提出議案)を国・政府に提出

◆医療機関の経営危機に対する財政支援を求める意見書

新型コロナウイルス感染拡大防止と感染者の治療を担ってきた医療機関が、感染者を受入れるためにベッドを空ければ減収になり、医師・看護師ら医療関係者も感染者対応のための体制を確保しなければならず、深刻な経営危機に陥っている。医療機関の経営危機を打開するために、大幅な財政支援を強く要望する。

◆公立・公的病院を再編統合する計画の見直しを求める意見書

政府は「地域医療構想」に沿った医療体制の効率化を推し進め、病院の再編統合を強力に推し進めようとしている。新型コロナウイルス感染症では、県内の病床の約6割を公立病院が担っており、その役割はますます大きくなっている。存続と充実を求める声が広がっていることから、公立・公的病院を再編統合する計画を見直すよう強く要望する。